



# いつ降ってもおかしくない雪への備えを 除雪や大雪時の準備をお願いします

これからの季節は、市内でも雪が降ることがあります。特に平野部では、少ない積雪でも混乱が起りやすくなります。突然の雪に慌てないために、皆さん一人一人の備えが大切です。本格的な冬の到来を前に、雪への備えや市の災害専用電話をもう一度確認してください。市ホームページでも確認できます。

問い合わせは、防災安全課 (☎027-321-1352) へ。



市ホームページ

## 備え1 雪かきの装備

自分で雪かきをする時は、右図を参考に装備を整え、家族や近所の人と協力して行ってください。降ったばかりの雪は軽いので、体への負担が少なく雪かきができます。早めに安全に雪かきができるよう、装備を確認してください。

市は、雪に備えて職員や市内の土木・建築業者などによる道路などの除雪体制を整えています。高齢者など自分で雪かきができない人を対象に、雪かき支援も行います。

### ■ 雪かきの装備の例



## 備え2 食料などの備蓄

大雪などの災害時は、食料を買いに行けなかったり商品が品薄や欠品になったりします。また断水や、電気・ガスが止まる可能性もあります。食料や水の備蓄だけでなく、懐中電灯や電池、カセットコンロと予備のボンベ、携帯ラジオなども準備してください。

## 備え3 雪道の歩き方を知る

降雪中や雪が降った後は、歩行中の転倒やスリップなどによる事故が発生する恐れがあります。不要不急の外出を控えてください。外出が必要な場合は、右図を参考にして、時間に余裕を持って行動しましょう。また、車で外出する場合は、必ず冬用タイヤを装着してください。

重心を前に置く

小さな歩幅で、靴の裏全体を地面につけて歩く

長靴や、底に深い溝のある靴を履く (滑りにくい物)



## 高崎市の災害専用電話

# ☎027-321-5000

大雪のとき、高齢者など自力で玄関から道路までの除雪ができない人で、手助けが必要な場合は連絡してください。市の職員が除雪のお手伝いをします

# 第21回吉野秀雄顕彰短歌大会

本市出身の歌人・吉野秀雄の功績をたたえる「第21回吉野秀雄顕彰短歌大会」の入賞者が決まりました。今回は、一般の部に184首、学生の部に8743首の作品が寄せられました。主な入賞作品は次のとおりです(敬称略)。

問い合わせは、文化課 (☎027・321・1203) へ。

### ◆吉野秀雄賞

栽培を最後まで決めし 鈍弱の葉先に朝のつゆ光りをり

板橋きみ江 (昭和村)

扉開けふわりと香る本の匂い心安らぐ小さな書店

江原彩芭 (高松中1年)

### ◆高崎市長賞

今宵また一番訊きたき事問はず独り身の息子との電話を切りぬ

新井八重子 (安中市)

制服でベッドに寝ころび目を閉じる白紙のままの進路調査票

小池由佳 (高崎商科大附属高2年)

### ◆高崎市議会議長賞

金曜はデイサービスに妻預け今日は俺の日そば屋に出向く

林郁男 (川場村)

もう会えない祖母のたんすを開ける母「ああ、なつかしいにおいがするね」

中島汐織 (下里見小5年)

要介護車イス乗る祖父はもう僕の歳には家族を養う

江原朔玖 (中央中等教育学校4年)

### ◆高崎市教育長賞

ぼつぼつと不思議な物が紙に浮く点字に触れし小一の我

堀口正雄 (新町)

白木蓮の花の千万青空に  
白さ刻みてしづもりけり

吉野秀雄



波の音今年も聞けずコロナ禍の家にこもりてせみの音を聞く

森田成美 (榛名中1年)

### ◆高崎市文化協会賞

透明な卵膜の中黒き目の動きてくるりとメダカ解化せり

高橋三枝 (前橋市)

ガラス越し笑顔で手を振るおじいちゃん帰る廊下が涙でゆがむ

荒井隆輔 (箕郷中2年)

### ◆群馬県歌人クラブ会長賞

わからないとわかってしまう切なきよ母に問うまい「私よ、わかる」

中澤ひろみ (前橋市)

いそそびなみにおそろわれつかまったばくのパンツはびつしよびしよ

小林優月 (城山小1年)

### ◆ラジオ高崎社長賞

消しゴムで書き直したき過去もあり今日も鉛筆で書く日記帳

設楽春樹 (浜川町)

将来を夢見て歩く都会の地人にもまれて自信をなくす

早瀬川豊作 (高崎商業高3年)

独自の歌風を築いた歌人

### 吉野秀雄

よしのひでお

吉野秀雄は、その生涯で6200首余りの短歌を詠んだ歌人です。明治35年、高崎市あら町の織物問屋に生まれ、青年時代から文学に親しみます。高崎商業高校から慶應義塾大学へと進学しましたが、胸を患い、大学を中退。病と闘いながら国文学を独修し、本格的に短歌の道を歩み始めます。4人の子を遺して亡くなった妻・はつ子を詠んだ「短歌百余章(昭和21年)」によって、歌人としての地位を確立。生涯を通して結社や流派には属さず、独自の歌風を築きました。昭和42年、65年の生涯に幕を閉じました。

吉野秀雄の歌碑は、高崎商業高校と高崎公園、問屋町中央公園に建つ他、新潟県柏崎市や慶應義塾大学などにあります。



吉野秀雄 (1902 ~ 67年)